



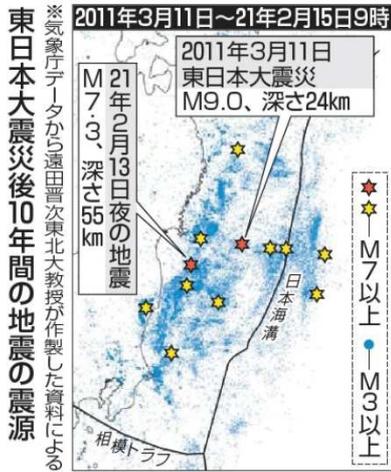
Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年3月8日夕刊中部版



2011年の東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)は、国内の観測史上最大となるマグニチュード(M)9.0の超巨大地震だった。余震は10年たった今も起きており、2月13日には福島県沖でM7.3が起きた。専門家からは「100年続く」との見方も出てお

専門家「余震 年続く」

超巨大地震 影響長期化

①2011年の東北地方太平洋沖地震の規模(マグニチュード)はいくつでしたか。

()

②この東北地方太平洋沖地震はどのようなしくみで起きましたか。記事中で、それがわかるところに線を引きましょう。

③東北地方太平洋沖地震を含めて、この地域(東北地方太平洋沖)でこの10年間に「マグニチュード7」以上の地震は何回起きていますか。図から読み取って書きましょう。

()回

東日本大震災は、東北地方が載る陸のプレートと、その下に沈み込む太平洋プレートの境界である日本海溝で起きた「プレート間地震」だった。政府の地震調査委員会によれば、震源域は岩手県沖南部～茨城県沖の長さ400キロ以上、幅約200キロに及んでおり、最大で50メートル以上ずれたと推定される。

同じ地域の超巨大地震は869年の貞観地震など、過去3千年の間に5回起きているとされる。いずれも沿岸に津波で運ばれた砂などの痕跡が残っており、大きな津波を伴った地震だった可能性がある。

遠田晋次東北大教授(地震地質学)によると、東日本大震災は震源域が極めて広いため一部は必ず目のつまり方が遅く、余震が10年以上続く地域もあるとみられる。

④見出しの口にあてはまる数字を書き入れましょう。()

⑤記事を参考に、今後の災害対策でふまえておくべきことを30字以内で書きましょう(句読点を含みません)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/理科、総合)



Newspaper in Education

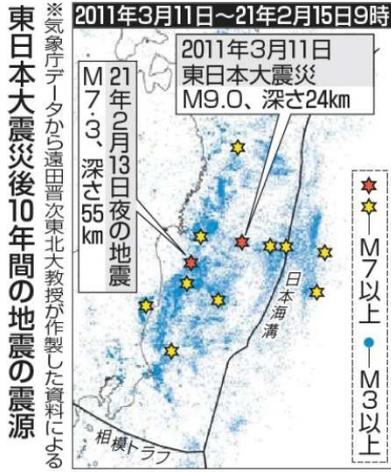
静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年3月11日朝刊



2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）は、国内の観測史上最大となるマグニチュード（M）9.0の超巨大地震だった。余震は10年たった今も起きており、2月13日には福島県沖でM7.3が起きた。専門家からは「100年続く」との見方も出てお

超巨大地震影響長期化

専門家「余震10年続く」

2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）は、国内の観測史上最大となるマグニチュード（M）9.0の超巨大地震だった。余震は10年たった今も起きており、2月13日には福島県沖でM7.3が起きた。専門家からは「100年続く」との見方も出ており、影響は長引きそう

東日本大震災は、東北地方が載る陸のプレートと、その下に沈み込む太平洋プレートの境界である日本海溝で起きた「プレート間地震」だった。政府の地震調査委員会によれば、震源域は岩手県沖南部～茨城県沖の長さ400キロ以上、幅約200キロに及んでおり、最大で50センチ以上ずれたと推定される。

同じ地域の超巨大地震は869年の貞観地震など、過去3千年の間に5回起きているとされる。いずれも沿岸に津波で運ばれた砂などの痕跡が残っており、大きな津波を伴った地震だった可能性が

遠田晋次東北大教授（地震地質学）によると、東日本大震災は震源域が極めて広いため一部は必ず目のつまり方が遅く、余震が10年以上続く地域もあるとみられる。

①2011年の東北地方太平洋沖地震の規模（マグニチュード）はいくつでしたか。

(9.0)

②この東北地方太平洋沖地震はどのようなしくみで起きましたか。記事中で、それがわかるところに線を引きましょう。

3段目3行目～9行目「東北地方が載る～「プレート間地震」だった。」に線を引く。

③東北地方太平洋沖地震を含めて、この地域（東北地方太平洋沖）でこの10年間に「マグニチュード7」以上の地震は何回起きていますか。図から読み取って書きましょう。

(12)回

④見出しの口にあてはまる数字を書き入れましょう。(100)

⑤記事を参考に、今後の災害対策でふまえておくべきことを30字以内で書きましょう(句読点を含みません)。

(例) 今後も長期にわたって大きな余震が起こることをふまえておく。(29字)
余震が長く続くことをふまえた地震対策が必要であること。(27字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／理科、総合)